



## 豊かな心・想像力・根気を培った図工展

先日行いました図工展では子どもたちの個性豊かな作品を鑑賞していただきありがとうございました。きっと子どもたちはおうちのみなさんの賞賛や励ましが何よりうれしく学びの原動力となったことと思います。図画工作は基本的な技能を身につけた上で豊かな心と想像力が必要です。そして工夫しながら根気強く取り組まなくてはなりません。だから、作品の出来栄以上にプロセスが大事です。そして、そこで培った力は学習や学校生活にも生きてきます。制作していく楽しさと喜びを感じた図工展だったと思います。

1年・・・「しゃぼんだま つかまえた」

生活科で体験したしゃぼん玉遊びを楽しんでいる様子が伝わってきました。上から・横から見た子どもたちの笑顔と躍動する手が伸び伸びと描かれていてかわいかったです。

2年・・・「サボテンさんの小物入れ」

爪楊枝に色を塗って作った色とりどりのトゲをつけた愛らしいサボテンさん。好みの色をしっかり練りこんだカラフルな小物入れに乗っかりました。小物入れに何を入れる？

3年・・・「ちぎり絵ランプシェード」

風船に和紙を隙間なく張り付けるのは大変。でも、風船を取り除くとランプシェードに変身。色とりどりの模様がランプの光に映し出されて幻想的な空間になりました。

4年・・・「もじ文字かくし絵」

自分で選んだ言葉がどこに隠れているのか？周りの色や柄が文字に込められた想いとその人のイメージを浮き出していました。文字を読み取った時うれしかったです。

5年・・・「ジャンクアートフィギア」

捨ててしまうであろう廃材が大変身。子どもたちの発想の豊かさに脱帽です。組み合わせたり、バランス良くしたり、空間認知力も必要だと感じました。SDGSにも貢献。

6年・・・「楽しい植木鉢」

小学校最後の図工展。土をこねるところから始まり、いくつもの工程を経て、世界に一つの個性豊かな植木鉢になりました。卒業してもいろいろな花を咲かせてほしいです。

ひまわり学級・・・「しんがへんしん！」

トイレットペーパーの芯を集めて何ができるのか？と興味津々でした。表現したい物の色を集中して塗り、いろんな形に自由自在に変身させながら作品を制作しました。

コロナの感染も抑えられている中、今月も自然学校・あまっこステップ調査・人権参観懇談・修学旅行等行いながら、2学期のまとめを進めていきたいと教職員一同強く思っています。引き続き感染対策に努めていただくとともに、寒くなってきましたが換気を行っていますので重ね着等体温調節のできる服装で登校できるようご協力をお願いします。